

マガモとオナガガモの雑種個体の観察

清水義雄¹

マガモ *Anas platyrhynchos* とオナガガモ *A. acuta* の雑種については、黒田 (1939), Francis (1942), 時国 (1989) らが報告している。筆者は、1985年に、長野県東筑摩郡生坂村を流れる犀川の東京電力生坂ダムとその下流約5 kmにある東京電力平ダムで、マガモとオナガガモの交雑個体と考えられる雄1羽を観察した。この雄は、時国 (1989) の観察した個体と、胸の色や足の色、尾羽の形状など、いくつかの点で異なっていたので、その点もあわせて報告する。観察された日時とその時の状況はつぎのとおりであった。

1985年1月27日 平ダムで、マガモの群れに混ざり、水面で休息しているのを50分間観察した。

1985年2月24日 生坂ダムで、マガモの群れにまざり、放水のため露出した湖底面で休息しているのを60分間観察した (図1)。

どちらで観察した個体も、大きさはマガモと同じで、光沢のある暗緑色の頭部、白い頸環のある首、明るい灰色をした体、白くて短い尾、黒くて先の丸まった上尾筒はマガモに似ていた。それに対し、淡鉛色のくちばし、鉛灰色の足、下尾筒のつけねが淡黄色であるところはオナガガモに似ていた。さらに、胸はうすいぶどう色をし、両種の間間的な形態を示していたことから、マガモとオナガガモの雑種と判断した。

なお、時国 (1989) が報告した個体は、胸が赤褐色、足はオレンジ色でマガモに、また、長くはね上がった尾はオナガガモに似ていた。さらに、背は両種の特徴がみられたのに対し、筆者が観察した個体は、胸がうすいぶどう色で両種の間間的な形態を示し、足は鉛灰色でオナガガモに似ていた。また、白くて短い尾、明るい灰色をした体はマガモに似ていた点で異なっていた。



図1. マガモとオナガガモの雑種個体と考えられる雄ガモ (→印)。

Fig. 1. A hybrid between the Mallard *Anas platyrhynchos* and the Pintail *A. acuta*.

引用文献

- Francis H. K. 1942. The Ducks, Geeses and Swans of North America, The Stackpole Company. Harrisburg, Pennsylvania.
- 黒田長禮. 1939. 雁と鴨. 46 pp. 修教社書院, 東京.
- 時国公政. 1989. マガモとオナガガモの雑種個体の観察. Strix 8 : 286 - 287.

A hybrid between the Mallard and the Pintail

Yoshio Shimizu¹

A male hybrid of the Mallard *Anas platyrhynchos* and the Pintail *A. acuta* was observed at the Sai River in Nagano Prefecture, Japan on 27 January and 24 February, 1985. Its head, neck and tail plumage were similar to those of the Mallard, while its bill, breast, undertail-coverts and tarsus color were similar to those of Pintails.

1. Inaba 2350 - 12, Nagano City 380, Japan